

ご挨拶

コロナ禍は未だ第7波(執筆時)で収まりそうにありませんが、外国からの学生の本学受入や信大生の海外渡航が徐々に緩和されつつあります。ただし、ウクライナ情勢による航空運賃の高騰や、日本からの渡航では円安で費用的に大変になってしまいました。それでも先月始めの韓国観光ビザの発給開始時に、韓国大使館前で行列ができ、徹夜で待った方もいたとの報道もあり、本当に海外に行きたいという方にはやっと希望が叶いつつあると感じています。こんなウイズ・コロナの中ですが、活発に国際交流ができることを期待しております。これからもどうぞ宜しくお願い致します。

2022年 7月

信州大学繊維学部 国際交流推進室長

小林 俊一

学内行事 留学生ガイダンス



7月7日上田警察署ならびに上田市多文化共生推進協会の皆様にご協力をいただき、留学生ガイダンスを開催しました。昨年度はオンラインのみでの開催でしたが、今年度は対面とオンラインのハイブリッド形式での開催でした。

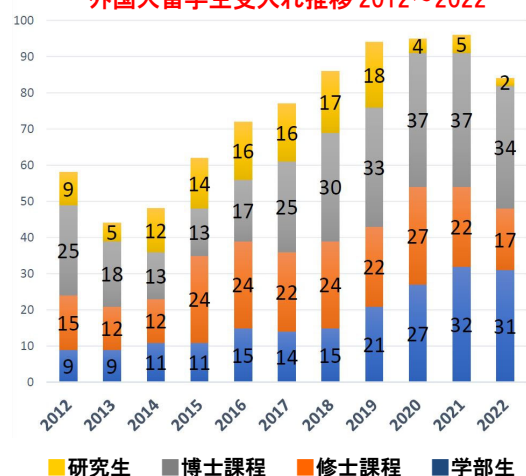
上田警察署からは注意が必要な交通ルールや近年増えている詐欺被害への対策についてご講義いただき、上田市多文化共生推進協会からは、うえた多文化交流フェスタなど様々な文化交流イベントについて写真を交えてご紹介いただきました。

ガイダンスには、オンライン・対面あわせて約30名が参加しました。新型コロナウイルス感染症対策のため今年度も懇談会の開催はできませんでしたが、ガイダンス後には参加した留学生全員がひとりずつ自己紹介を行い、会場では笑顔や拍手のあふれる交流が行われました。

繊維学部 外国人留学生の動向

受け入れ留学生数は全体的に減少傾向にあり、特に院生が減少しています。学部生は近年増加傾向にありましたが2022年度は2021年度より減少しました。また、世界的なコロナ禍の影響もあり、7月時点で来日できていない留学生は3名となっております。

外国人留学生受入れ推移 2012～2022



外国人留学生数 課程別・国別

2022年 7月現在

博士課程	33	中国	44
修士課程	16	ベトナム	10
学部	31	韓国	11
研究生	2	パキスタン	5
計	82	マレーシア	3
		モンゴル	1
		タイ	2
		インドネシア	2
		モンゴル	1
		中国	2
		バングラデシュ	1
		合計	82

国費生

国費生

国費生

留学生サポーターの声

こんにちは。2022年4月より留学生サポーターに携わる修士1年の大谷優綺と申します。この制度は、渡日して間もない留学生に対して役所や銀行での手続き等を手伝い、生活を支援します。私は指導教官の推薦で所属研究室に同期として来日した留学生を担当しています。

語学力はあった方がサポートしやすいです。私は想像以上にSpeakingができず、なぜ推薦されたのかと謎でした。しかし、語学力以上に苦戦したのは、日本の社会制度の知識不足と留学生のバックグラウンドへの理解不足です。例えば年金の学生納付特例制度による免除を申請するには、まず年金制度への加入が必須です。言われてみればそうですが、理解してもこの煩雑で日本独自の公的手続きを英語で説明するのは骨が折れました。また担当した留学生は母国の会社から資金援助を受けており、特に銀行の海外送金で手間がありました。そもそも初めは会社員であることを知らなかったため、活動初期は認識の齟齬が沢山ありました。最終的に何とかはなりましたが、自身の語学力の乏しさを痛感しました。ただ一方で、それでも何とかしようとコミュニケーションをとり続けたのは良かったと思います。日本の制度の下調べ、相手のバックグラウンドを知るための対話は念入りにしました。おそらく、最後まで親身にサポートする姿勢を買われて推薦されたのかなと振り返ります。



留学生のための日本語補講講座

繊維学部では留学生のために、毎年正規の授業とは別に日本語補講講座を開講しています。繊維学部では入門クラスが1クラス計4名、初級クラスが3クラス計18名の学生が日本語の勉強に励んでいます。

7月15日、今期の授業の成果を発表する工学部・農学部・繊維学部合同のスピーチ発表会がZOOMにて開催されました。繊維学部からは14名の留学生が参加し、母国のことや日本での生活をテーマに発表を行いました。

海外派遣 夏季オンサイト英語研修

コロナ禍でオンラインでのサマースクールが主流になっておりましたが、2年振りにグローバル推進センターが対面で行われるサマースクールの募集を行いました。15名程度の募集に対し31名と倍以上の応募があり、選考が行われ、繊維学部からも学部生1名の参加が決定いたしました。

参加者は、8月20日～9月17日までの29日間、オーストラリアのウーロンゴン大学附属カレッジで英語研修に参加します。

国際交流推進室 室員紹介（教員）

小林 俊一（室長、バイオエンジニアリングコース）
 金 翼水（副室長、機能機械学コース）
 マクナミー キャシー（副室長、応用分子化学コース）
 鮑 カ民（機能機械学コース）
 ハニウッド マイケル（感性工学コース）
 朱 春紅（先進繊維工学コース）

本ニュースへのご意見、ご要望などありましたら、国際交流推進室メールアドレス（fkokusai@shinshu-u.ac.jp）へお寄せください。

◆国際交流推進室ホームページ◆
<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/exchange/>